

オニノゲシ

Sonchus asper

キク科



オニノゲシ

名前の由来

ノゲシより壮大で葉に刺があり、様子を鬼にたとえて名付けられた。ノゲシはケシの葉に似ることから由来するが、ケシ科の植物ではない。漢字名：鬼野罌粟

魚類

底生動物

両生類
爬虫類

トンボ

チョウ
ユウ

樹木

(在来種)
草花

(外来種)
草花

哺乳類

(水辺)
鳥類

(草原・樹林)
ワシ・タカ

形態的特徴

高さは0.5~1mになり、花茎は中空で5~6個の稜角がある。葉はやや堅く光沢があり、縁にある鋸歯は鋭く刺状で触ると痛い。また葉の基部は茎を取り囲むように丸く張り出す。花は黄色で、タンポポのように舌状花が集まって径2cmほどの頭花となり、茎頂に数個がやや散状につく。

類似種と見分け方：ノゲシ。

ノゲシの葉は光沢が乏しく、縁の刺は痛いほどに硬くはない。また葉の付け根はとがって張り出しているが、丸くはない。

生育環境・分布

道端や荒地などで生育する。

分布：国外分布は、ヨーロッパ原産で世界中に帰化している。

国内分布は、日本全土。

北海道内分布は、全道。

十勝地方では、道端や荒地などで生育する。群生はせず、他の種類に混ざってまばらに生えていることが多い。また、草丈の高い草原ではほとんど見られない。

生活史

開花時期：5月中旬~9月。開花までの年数：不明。

寿命：1~2年草。

他生物との関わり

花には虫が訪れる。

興味深い話

■1892年に東京で初めて確認され、そこから全国に広がったとされる。



オニノゲシ。右上は花、右下は葉

生活サイクル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
開花期		■											
結実期			■										

参考文献

「日本帰化植物写真図鑑」清水矩宏・森田弘彦・廣田伸七 全国農村教育協会 2001

「北海道帰化植物便覧 2000年版」五十嵐博 北海道野生植物研究所 2000

「北海道植物図譜」滝田謙讓 自費出版 2001

「日本の野生植物 草本Ⅲ」佐竹義輔・大井次三郎 平凡社 1981

「名前といわれ 野の草花図鑑4」杉村昇 偕成社 1990

「花のおもしろフィールド図鑑 春」ピッキオ 実業之日本社 2001